

平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成 30 年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1715 名	うち海外在住外国人正会員 9 名
特別正会員	31 名	
団体正会員 (公益)	71 口	
団体正会員	65 口	
学生会員	449 名	
名誉会員	14 名	
合 計	2345 名	

〔2〕運営に関する会議

1. 通常総会の開催

第 38 回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成 30 年 6 月 12 日 (火) 13 時 00 分～13 時 28 分
- (2) 場 所 タワーホール船堀 (東京都江戸川区)
- (3) 出席者 1,071 名
- (4) 議 題

1) 平成 29 年度決算 (案) について

報告 平成 29 年度事業報告

総会に続いて、各賞の発表と表彰、受賞者講演、特別講演が行われた。

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第 118 回理事会

- 1) 日 時 平成 30 年 5 月 15 日 (火) 17 時 00 分～18 時 30 分
- 2) 場 所 学会事務局 (東京都江東区)
- 3) 出席者 小野会長他理事 17 名、監事 3 名、運営幹事 3 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 入退会者等の承認
 - イ. 研究委員会の活動報告と継続申請承認
 - ウ. 学会賞・学術賞・論文賞・論文奨励賞・技術賞・技術奨励賞の選考
 - エ. 規程制定

- オ. 第38回通常総会の議案承認（2017年度事業報告及び決算の承認）
- カ. 総会における出欠連絡、委任、議決権行使方法承認
- キ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告事項
- ク. その他

(2) 第119回理事会

- 1) 日 時 平成30年9月4日（火）12時45分～13時20分
- 2) 場 所 島根大学生物資源科学部1号館2F203会議室（島根県松江市）
- 3) 出席者 小野会長他理事18名、監事2名、運営幹事6名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 入退会者等の承認
 - イ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - ウ. その他

(3) 第120回理事会

- 1) 日 時 平成31年3月8日（金）12時20分～13時15分
- 2) 場 所 山梨大学L号館C棟LC-27講義室（山梨県甲府市）
- 3) 出席者 小野会長他理事18名、監事2名、運営幹事14名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 入退会者等の承認
 - イ. 特定費用準備金について
 - ウ. 平成31年度事業計画案と予算案の承認
 - エ. 理事・監事被選挙人名簿および選考手続きの承認
 - オ. 名誉会員の推薦について
 - カ. 学会賞・学術賞・技術賞・技術奨励賞・特別功労賞の選考
 - キ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - ク. その他

〔3〕運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

〔4〕年会

第53回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

- 1. 開催日 平成31年3月7日（木）～9日（土）
- 2. 場 所 山梨大学（山梨県甲府市）
- 3. 参加者 1305名
- 4. 一般発表：発表件数 691件（口頭421件＋ポスター270件）の他、特別講演会、企業展示、水環境ビジネスガイダンス、会員企業・研究機関等就職説明会、各賞の発表と表彰が行われた。

〔5〕シンポジウム

第21回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 開催日 平成30年9月4日(火)～5日(水)
2. 場 所 島根大学松江キャンパス (島根県松江市)
3. 参加者 426名
4. 20の研究委員会と本部企画によるセッションの他、企業展示、特別講演会、各賞の発表と表彰が行われた。

[6] 国際会議

Water and Environment Technology Conference 2018(WET2018)を開催した。

(一部は、水ing株式会社[朋恵1]からの出捐事業であった。)

1. 開催日 平成30年7月14日(土)～15日(日)
2. 場 所 愛媛大学 (愛媛県松山市)

[7] 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行し、科学技術振興機構(JST)が運営するJ-STAGE上で公開した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文編およびバックナンバーを科学技術振興機構(JST)が運営するJ-STAGE上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」のVol.1～Vol.30のPDF版を収めたDVD-ROMを販売した。

[8] IWA活動への協力

1. IWAおよびその国内委員会の活動に参加し、IWA活動を支援・推進した。
2. IWA World Water Congress 2018 in Tokyo準備委員会の活動に参加し、平成30年9月16日(日)～21日(金)の会議開催に尽力した。

[9] 出版企画

1. 「水環境の事典」の編集を行った。

[10] 支部活動

7支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー、見学会、表彰等を実施した。

[11] 研究委員会活動

21研究委員会(嫌気性微生物処理、MS技術、生物膜法、身近な生活環境、微生物生態と水環境工学、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、システム解析、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術、将来の水環境変化に対応した水供給システム、汽水域)が、シンポジウムでセッションを企画するなどそれぞれ活動を行った。

[12] 表 彰

2018年度の学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞、技術奨励賞、水環境文化賞、支部活動優良賞および特別功労賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略）。また、年会優秀発表賞、年会学生ポスター発表賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞、年間優秀論文賞およびWET優秀賞を選考し、次の各氏に授賞した（敬称略・50音順）。

(1) 学会賞

該当者なし

(2) 学術賞

受賞者 たたらざこ のりひさ
鑪迫 典久（愛媛大学大学院農学研究科・教授）
対象研究 水生生物を用いた毒性評価（バイオアッセイ）とその水環境評価・管理への応用に関する研究

(3) 論文賞

受賞者 かたやま ひろゆき
片山 浩之（東京大学大学院工学系研究科・教授）
主要対象論文 Pepper mild mottle virus as a process indicator at drinking water treatment plants employing coagulation-sedimentation, rapid sand filtration, ozonation, and biological activated carbon treatments in Japan
掲載誌 *Water Research*, Vol.132, 61-70 (2018)

受賞者 まつした たく
松下 拓（北海道大学大学院工学研究院・准教授）
主要対象論文 Removals of pesticides and pesticide transformation products during drinking water treatment processes and their impact on mutagen formation potential after chlorination
掲載誌 *Water Research*, Vol.138, 67-76 (2018)

(4) 論文奨励賞（廣瀬賞）

受賞者 あきやま さとし
秋山 諭（大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部・研究員）
対象論文 不等間隔の月例観測データから見る大阪湾表層水温の経時的諸特性
掲載誌 水環境学会誌, Vol.41, 83-90 (2018)

受賞者 ふじい まなぶ
藤井 学（東京工業大学環境・社会理工学院・特任准教授）
対象論文 Photochemical generation and decay kinetics of superoxide and hydrogen peroxide in the presence of standard humic and fulvic acids
掲載誌 *Water Research*, Vol. 123, 642-654 (2017)

(5) 技術賞

該当者なし

(6) 技術奨励賞

受賞者 にし の たかひろ
西野 貴裕（公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所）
かとう
加藤 みか（公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所）
とうじょう としき
東條 俊樹（大阪市立環境科学研究センター）
あさかわ だいち
浅川 大地（大阪市立環境科学研究センター）

いちハラ	まきこ	
市原	真紀子	(大阪市立環境科学研究センター)
まつむら	ちさと	
松村	千里	(公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
はが	ゆうき	
羽賀	雄紀	(公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
よしき	りょうすけ	
吉識	亮介	(公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
はせがわ	ひとみ	
長谷川	瞳	(名古屋市環境科学調査センター)
みやわき	たかし	
宮脇	崇	(福岡県保健環境研究所)
たかはし	こうじ	
高橋	浩司	(福岡県保健環境研究所)

対象調査研究 地域ネットワークを活用した化学物質の網羅モニタリングと統合的評価・管理手法に関する調査研究

(7) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 阿蘇海環境づくり協働会議 (京都府京丹後市)
対象活動 カキ殻除去を通じた阿蘇海の保全に関する活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部 (みじん子賞)」

受賞者 群馬県立尾瀬高等学校理科部 (群馬県沼田市)
対象活動 尾瀬ヶ原および片品川流域における自然環境調査

(8) 支部活動優良賞

受賞支部 中国・四国支部
対象活動 水環境フォーラム山口

(9) 特別功労賞

受賞者 たばた ひでお
田畑 日出男

(10) 年会優秀発表賞及び年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

1) 年会優秀発表賞

いしい	えり	
石井	絵理	(熊本大学大学院)
いわや	ふみか	
岩谷	文香	(秋田県立大学大学院)
かむら	ゆうき	
嘉村	優輝	(京都大学大学院)
きのした	しょうや	
木下	勝陽	(立命館大学大学院)
こうりき	さとし	
高力	聡史	(北海道大学大学院)
ごとう	ひろと	
後藤	博登	(群馬大学大学院)
しんふく	ゆうた	
新福	優太	(鹿児島大学大学院)
すがわら	こうたろう	
菅原	巧太朗	(秋田県立大学大学院)
つちやま	みき	
土山	美樹	(茨城大学大学院)

どうやま	たかひろ	
堂山	貴広	(山梨大学大学院)
なかじま	たいすけ	
中寫	泰介	(東京大学大学院)
にしかわ	しゅんと	
西川	峻登	(北海道大学大学院)
ほそえ	あやか	
細江	彩華	(東京農工大学大学院)
むかわ	えつこ	
武川	悦子	(山梨大学大学院)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の14名に「年会優秀発表賞」を授与した。)

- 2) 年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成
該当者なし

(11) 年会学生ポスター発表賞 (◎：最優秀賞)

いそずみ	なおこ	
五十棲	直子	(東北大学)
いのうえ	こうき	
井上	光希	(中央大学)
うえむら	たくみ	
上村	拓海	(鳥取大学)
おおの	さとる	
◎大野	哲	(東京農工大学)
くらした		
蔵下	はづき	(都城工業高等専門学校)
こんどう	やすひと	
近藤	泰仁	(京都大学)
さわはた	まさき	
澤島	将貴	(東北大学)
すずき	だいすけ	
鈴木	大輔	(国立東京工業高等専門学校)
たかしま		
高嶋	ひかる	(宇部工業高等専門学校)
たかはし	こうへい	
高橋	晃平	(筑波大学)
なかむら	わたる	
中村	航	(横浜国立大学)
にった		
新田	しおり	(東洋大学)
ふじい	けん	
藤井	健	(名古屋工業大学)
まきの	たつき	
牧野	樹生	(京都大学)
みやざき	じゅんぺい	
宮崎	淳平	(静岡県立大学)
やまぐち	はるか	
山口	陽香	(都城工業高等専門学校)
よしかわ	たくみ	
好川	拓実	(大阪大学)
わたなべ	はるか	
渡邊	春佳	(山梨大学)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の18名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(12) 博士研究奨励賞 (◎：最優秀賞)

すえなが	としかず	
末永	俊和	(東京農工大学)
てい	せい	
◎丁	青	(中央大学)
ゆきおか	さとる	
雪岡	聖	(京都大学)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第21回シンポジウムで発表した上記の3名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(13) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

Seoktae Kang (Korea Advanced Institute of Science and Technology, Korea)

Xueqin Lu (East China Normal University, China)

Yin-hu Wu (Tsinghua University, China)

Yu Yang (Beijing Normal University, China)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第53回年会で研究発表を行った上記の4名の海外在住外国人会員に対し、「水環境国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。)

(14) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

くりす ふとし
栗栖 太 (東京大学) 8th IWA Microbial Ecology and Water Engineering Specialist Conference (第8回IWA微生物生態と水環境工学専門家国際会議)

たきざわ さとし
滝沢 智 (東京大学) 7th IWA Specialist Conference on Natural Organic Matter in Water (第7回IWA水中の天然有機物に関する専門家会議)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の2名に対し「水環境国際活動賞」を授与し、各国際会議開催の費用の一部を助成することを決定した。)

(15) 年間優秀論文賞

対象論文 Anaerobic baffled reactor in treatment of natural rubber processing wastewater: reactor performance and analysis of microbial community

受賞者 わたり たかひろ ひらかた ゆうが はたもと まさし たにかわ だいすけ
Phuong Thao Tran¹、渡利 高大¹、平片 悠河¹、幡本 将史¹、谷川 大輔²、
しゅつぽ かずあき やまぐち たかし
珠坪 一晃³、山口 隆司¹

(1 長岡技術科学大学、2 呉工業高等専門学校、3 国立環境研究所)

掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.15, No.6, 241-251 (2017)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に平成29年「年間優秀論文賞」を授与し、第21回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に旅費等を助成した。)

(16) WET 優秀賞

1) WET Excellent Paper Award (WET 優秀論文賞)

対象論文 Applicability of mathematical model for biomass production by indigenous microalgae based on cultivation characteristics at different wastewater treatment plants

受賞者 Phuc-Nguon Hong, Chanreasmey Taing, Phuong-Thanh Phan, Ryo Honda (Kanazawa University)

対象論文 Application of a dialysis-based pH control system to a microbial fuel cell using ferric-EDTA electron acceptor

受賞者 Naoyuki Kishimoto¹, Hideto Yoshida¹, Yoshitaka Murakami²

(1 Ryukoku University, 2 Maezawa Kasei Industries)

2) WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

Nur Adlin Binti Abu Bakar	(Nagaoka University of Technology)
Nakia Belmer	(Western Sydney University, Australia)
Thaddeus Carvajal	(Ehime University)
Maribet Gamboa	(Ehime University)
Anwar Hossain	(Yokohama National University)
Saeka Ishikawa	(Saitama University)
Atsushi Jikumaru	(University of Miyazaki)
Sui Kanazawa	(Kanazawa University)
Naoyuki Kishimoto	(Ryukoku University)
Yasmi Louhasakul	(Prince of Songkla University, Thailand)
Haiyuan Ma	(Tohoku University)
Misato Masuda	(University of Shizuoka)
Yusaku Mochizuki	(National Institute of Technology, Tokyo College)
Kentaro Nagao	(Yokohama National University)
Zhifei Pan	(Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine)
Chomphunut Poopipattana	(The University of Tokyo)
Anna Prokhorova	(Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University)
Aulia Fajar Rahmani	(Tokyo University of Agriculture and Technology)
Benyapa Sawangjang	(The University of Tokyo)
Joeselle Serrana	(Ehime University)
Satoshi Soda	(Ritsumeikan University)
Nyimas Suryani	(Ritsumeikan University)
Daisuke Suzuki	(National Institute of Technology , Tokyo College)
Sarmila Tandukar	(University of Yamanashi)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2018 の参加者のうち、上記 24 名の発表者に WET Excellent Presentation Award を授与した。WET2018 での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2019 で授与される。)

[13] 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA 活動への協力などを行った。国際連携会員の拡大に努めた。

[14] その他の事業活動

1. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第 27 回市民セミナー

公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施した。

- 1) テーマ 豊かな里海の創生～沿岸域と河川流域の関係～
- 2) 開催日 平成 30 年 8 月 3 日(金)

- 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール（東京都世田谷区）
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール（大阪市住之江区）

- 4) 参加者 東京会場 61 名、大阪会場 41 名

(2) はじめての技術セミナー

- 1) テーマ はじめての次世代シーケンサーを使った活性汚泥の菌叢解析

- 2) 開催日 1 日目：平成 30 年 8 月 24 日（金）
2 日目：平成 30 年 9 月 26 日（水）

- 3) 場 所 1 日目：東京農工大学 小金井キャンパス
2 日目：産業技術総合研究所 つくば西

- 4) 参加者 15 名

(3) 第 64 回日本水環境学会セミナー

- 1) テーマ 水環境における環境 DNA を用いた生物モニタリング

- 2) 開催日 平成 31 年 1 月 25 日（金）

- 3) 場 所 自動車会館大ホール（東京都千代田区）

- 4) 参加者 74 名

2. 見学会の実施

第 33 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成 30 年 10 月 26 日（金）

- 2) 場 所 信州大学アクア・イノベーション拠点（COI）（長野県長野市）

- 3) 参加者 18 名

3. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第 45 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 30 年 8 月 27 日（月）

- 2) 場 所 日本大学理工学部駿河台校舎（東京都千代田区）

- 3) パネルディスカッション 事業環境の変化に伴う、水道管路業務の新たな取り組み

- 4) 参加者 37 名

(2) 第 46 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 30 年 12 月 20 日（木）

- 2) 場 所 日本大学理工学部駿河台校舎（東京都千代田区）

- 3) テーマ 水にとっての SDGs

- 4) 参加者 29 名

4. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携体」に継続して参画した。
- (4) 環境工学連合講演会を開催する日本学術会議土木工学・建築学委員会企画分科会環境工学連合小委員会に継続して参画した。